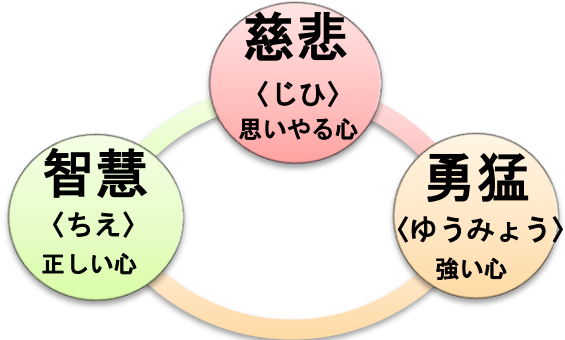


下野三楽園養育3つの柱



# さんらくえん通信

発行責任者：人見良典 編集責任者：藤原崇夫  
編集：下野三楽園編集委員会 **第54号**



約1か月間の夏休み、大きなプールに行ったり、川下りをしたり、バーベキューをしたり、特等席で花火をみたり、暑い暑いと言いつつ、たつぷり夏を謳歌しました。

## 夏休み

## 鏡に映る心

私たちは毎朝、鏡をのぞきます。鏡は正直で、嬉しい顔も疲れた顔も、そのまま映し出します。

人との関わりも同じです。こちらが笑顔で挨拶すれば、相手も自然と笑顔を返してくれる。逆に、不機嫌に接すれば、そのまま返ってきます。まさに心を映す鏡のようです。

仏教には「因果応報」という教えがあります。自らの行いが、やがて自分に返ってくるということです。優しい言葉は温かさとなって戻り、冷たい態度は冷たさとなって返ってきます。

毎朝鏡を見ると、「今日の自分はどんな顔で過ごそうか」と問いかけてみましょう。その小さな心がけが、自分と周りを少しずつ明るくしていきます。

日光山輪王寺 貴船 慈浩

## ◇ 子どもの意見を表明する権利を保障する ◇

園長 藤原崇夫

わたしたち児童の社会的養護を担う施設の職員は「児童福祉法」という法律にのっとって事業を進めていますが、この法律は時代の要請に応じてさまざまな改正が行われてきました。最近では令和6年4月から施行された改正の中で、子どもの権利を守るための取り組みのひとつとして、「**子どもの意見表明権**」を保障することがうたわれています。

下野三楽園ではこれまでも、子どもたちの意見や苦情を把握するために、日ごろの生活の中で職員が子どもたちの声に耳を傾けて話し合ったり、園内に意見箱を設けてきたほか、外部の第三者委員に子どもたちが直接相談できるような仕組みも用意してきました。意見箱には年に数件の投書があるので、職員は当事者と向き合って話し合いを持ち、納得のいくような問題の解決にあたってきました。

今回の意見表明権の保障とは、具体的にはこれまで行ってきたことに加えて、専門機関から「**意見表明支援員(アドボケート)**」を派遣してもらい、子どもとの対話を通じて子どもの立場に立ち、子どもの意見を代弁するという、意見表明のための新たな窓口を作り出すものです。手始めとして昨年度から中央児童相談所の一時保護所で実施されていますが、令和7年度は本園を始めとした県内の三施設でモデル事業を行い、来年度から県内すべての児童養護施設での実施を目指しています。本園では仕組みの説明を全部の子どもと職員に行い、この秋から2か月ごとにアドボケートの方が来園してスタートすることになりました。

このようにより多くのチャンネルが用意されることで、どんな些細なことであっても子どもたちの考えや悩み、要望などを知ることができ、よりきめ細かな支援につながると考えます。そして、場合によっては重大な事件事故が未然に防げることもあるかもしれません。

常に「子どもたちの最善の利益」を考えて支援を行っているわたしたちにとっても、また一つ有効な手段を手に入れたことになるので、これをきちんと活用していくことがわたしたちに課せられた責務であると考えています。



### たんぽぽ居室（分園）

私たちは本園から少し離れた分園で、児童6人職員4人で生活しています！分園は昨年3月に完成し、昨年4月から本格的に始動したばかりですが、みんなと楽しく、時に喧嘩もありとにぎやかな生活を送っています。

また、分園では職員が食事を作っていますが、子ども達も調理に興味を持ち、たくさん手伝ってくれるので助かっています。

走るのが好きな子が多く、元気に分園の庭を走りまわり、分園の畑では季節に合わせた野菜の栽培をしており、畑の手伝いや収穫も子ども達が率先して行ってくれています。これからも分園で、子ども達がのびのびと自由に楽しい生活が送れるように頑張ります！！

(飛田真穂)





## さくら居室

さくら居室は、現在幼児2名、小学生2名、中学生1名、高校生1名の女の子6名で生活しています。

生活リズムも好きなことも違うのでけんかをすることもあります、毎日元気に楽しく過ごしています。最近夕食後にみんなでダンスを踊っています。年上の子は職員に代わって年下の子の面倒をよく見てくれるので、お姉さんたちをよく慕っています。

今年の夏は全員で食べ放題のお店に行きました。普段は小食の子もお腹いっぱい食べることができ、みんな大満足でした。

今年は受験生がいるので、みんな病気をしないように元気に過ごしたいと思います。

(斎藤美香)



## 『充実した日々』

保育士 関智史

下野三楽園で子ども達と関わり、仕事をさせて頂いて、早いもので7年になりました。

多くの子ども達の支援をさせて頂いて、楽しいことや嬉しいことはもちろん、キツイことや嫌なこともありました。そんな中、元気に明るく仕事に来られているのも大好きな趣味のフィールドホッケーを思う存分やれていることが大きな要因の1つになっています。

『ホッケー』と聞くとアイスホッケーを思い浮かべる人がほとんどだと思います。実際、私自身も全く知りませんでした。

子どもの頃からサッカー小僧で友達とサッカーボールを毎日追いかけていましたが、サッカーからフィールドホッケーに変わったきっかけは、息子が小学3年生の時、友達に誘われて入った少年団でした。当時の指導者が「お父さん運動好きでしょ？一緒にどう？」と誘って下さり初めて触れたことでした。動き方こそサッカーに似ているものの、自分の身体ではなくスティックを使ってボールを扱うところが全く違い、もの凄く難しかったし純粋に楽しいなと思ったことを覚えています。また、自分が子どもの頃サッカーをやっていて親にプレーのことを色々と言われ「じゃあやってみなよ！できないくせに！」とっていたので、息子にそう思われたくない、むしろ一緒にやり始めて一緒に練習をして共感できたら良いなとも思いました。

子どもの練習と一緒に行って時々やる程度でしたが、少しずつ出来る様になってきたと同時に、子どもの大会などを通じてホッケーでの知り合いが大幅に増え、より楽しさも増えていきました。

2023年3月にフィールドホッケーの新しい社会人クラブを元日本代表ゴールキーパーの方が代表となって発足することになり、クラブ関係者に誘って頂き妻にはしっかり相談をした上で入会をすぐに決めました。それからは、子ども達以上にホッケーにハマり練習を重ね、キャプテンにまで指名して頂き、公式戦に出場しています。

やればやるほどフィールドホッケーをもっとたくさんの人に知ってもらいたいな、見て欲しいな（リーベ栃木やグラクソスミスラインオレンジユナイテッドといった日本のトップリーグのチームもあります）と思っています。

何より、クラブスローガンの「人は何者にでもなれるいつからでも」を誰よりも体現するかのよう、30代終わりで新しい競技に出会い、関わって、楽しむことができていること、できるんだ！！ということも多くの人や子ども達に見せていきたいです。



## 新任職員紹介

**大場健作保育士** 3年半ほど保育園で働いていたので、その経験を活かしながら子どもたちと色々なことをして共に学び、成長していきたいと思っています。趣味はスポーツ観戦やダーツ、グルメ巡りです。職員の皆様と力を合わせ子どもたちの支援を行えるよう頑張りますので、よろしくお願い致します。

**森戸唯衣保育士** 日々子どもたちからパワーをもらい、楽しくお仕事ができています。休日はいろいろな所へお出かけして、リフレッシュをしています。子どもたちと一緒に成長しながら頑張っていきたいと思います。よろしくお願い致します。

**山崎良子指導員** 7月に入職し、まだ日は浅いですが、子ども達と日々関わることで日々成長していく姿にパワーをもらっています。子ども達と一緒に成長し喜びや楽しさ、時には一緒に考え、悩みを共有できたらと思います。よろしくお願い致します。

ご支援及びご協力、誠にありがとうございました。

(R7. 3. 1~R7. 8. 31 敬称略、順不同)

特定非営利法人うつのみや百年花火（宇都宮市）／東京応化工業㈱（宇都宮市）／日本ヨークス販売㈱（宇都宮市）／㈱東武宇都宮百貨店（宇都宮市）／武田浩（日光市）／村田理枝（宇都宮市）／明治安田生命宇都宮支社宇都宮北営業所（宇都宮市）／川久保治美（宇都宮市）／ひまわり会（宇都宮市）／全建総連栃木県建設労組（宇都宮市）／飽本一裕（宇都宮市）／㈱Daska&Desiree(土浦市)／宇都宮更生保護女性会（宇都宮市）／宇井大悟（日光市）／松村貴幸（深谷市）／平松弘之（仙台市）／平松里江子（宇都宮市）／神田賢介（日光市）／問屋口郁子（宇都宮市）／高橋雄一（宇都宮市）／㈱チュチュアンナ（大阪市）／高久哲（市貝町）／大塚典子（鹿沼市）／日光山輪王寺（日光市）／絵本作家 風咲／青木勲（宇都宮市）／みらいこども財団／㈱ダイエー川口俊成（宇都宮市）／㈱フェドラ（宇都宮市）／日本児童養護施設財団（東京都）／天台宗務庁（大津市）／栃木県共同募金会（宇都宮市）／齋藤和道（小山市）／宗教法人 諸佛経行処（日光市）／鈴木キヨ子（宇都宮市）



R7. 4. 1~8. 31 の意見箱の投函数は2件です。

### ご支援のお願い

本園では子どもたちの学習指導、交流、環境美化等様々なボランティアのご協力を求めています。皆さまやお知り合いの方々のご紹介等いただけましたら幸いです。よろしくお願い致します。

園長 藤原 崇夫

〒321-2105 宇都宮市下小池町 194

TEL : 028-669-2131 FAX : 028-669-2241

Email: shimotsuke-sanrakuen @nifty.com

http ://www. shimotsuke-sanrakuen. net



子育ての不安や悩み、困っていることやわからないことなど、気軽にご相談ください。